

(様式2)




2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 三島市立中郷中学校 】

1 実践テーマ	【 III ・ V 】
2 実施対象者	・三島市立中郷中学校 全校生徒 →生徒 207人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (道徳) ② 行事名 () ③ その他 (ビデオ鑑賞、 図書室掲示) (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・昨年度に引き続き、2020オリンピック、パラリンピックに向け、オリンピック、パラリンピックについての学びを通して、オリンピック、パラリンピックへの興味関心を高める。 ・オリンピック、パラリンピックを題材にした学習を通し、スポーツに対する興味関心を育むとともに、夢に向かって挑戦していくことの大切さ、大変さ等について実感し、自分自身の生き方を考える一助とする。
5 取組内容	①学習委員会のスポーツ記事収集と掲示   学習委員が、定期的にオリンピック・パラリンピックの記事を中心に、スポーツに関する記事を新聞から集め、掲示コーナーを設けたり、ファイルにまとめたりする活動を行った。 ②図書室への掲示 ・昨年度より、図書委員が図書室の一角に「オリパラコーナー」を常設し、オリパラの歴史等の掲示物を掲示し、関連書物の紹介を行った。 

③道徳の授業

- ・資料名『ライバルとの友情～スピードスケート選手 小平奈緒とイサンフア～』
- ・主題名「2-(3) 友情・信頼」
- ・1年生全クラスで実施
- ・国境を超える2人のオリンピックの友情とスポーツマンシップに触れ、グループで「ライバルと友情」について語り合い、それを学級全体で共有した。



5 取組内容



④国際パラリンピック委員会公認教材『mPOSSIBLE(アムポッシブル)』視聴

- ・教材は、4人のパラリンピアンが15分版教材
- ・全校生徒が給食の時間に視聴
- ・1日1教材を4日間で視聴し、感想を交流した。



6 主な成果	<p>① 学習委員会のスポーツ記事収集と掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習委員が、オリンピック、パラリンピックの記事に興味を持つことができた。 ・ 委員は次のような感想を持った。 「新型コロナウイルス感染症が拡大する中、オリンピック開催について、いろいろな視点から意見が載っていた。」 「選手の頑張り、オリンピック・パラリンピックへかける思いが伝わってきた。」 <p>② 図書室への掲示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリンピック、パラリンピックの基本的な知識を紹介できた。 ・ 図書室においてあるオリンピック・パラリンピックに関する本を読む生徒が増えた。 <p>③ 道徳の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツの意義や楽しさを感じさせることができた。 ・ 振り返りより 「ライバルとは、同じ競技で、同じように努力してきたからこそ理解し合える存在だと思った。」 「ライバルとは、対戦相手であるが、敵ではなく、同じ競技を愛し、高めあって(盛り上げて)いく、友人であると思う。」 「他の競技においても、ライバルがあって競技が盛り上がるのだと思った。」 <p>④ 『I'm POSSIBLE (アイムポッシブル)』視聴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パラリンピックへの興味関心をもたせることができた。 ・ 振り返りより 「身体が不自由だとしても、その人たちは希望をたくさん持っている。身体の不自由な人はかわいそうと思っていたけど、自由とか不自由とか関係なく、その人がすごいと思った。」 「パラリンピックについて、何も知らなかったが、オリンピックだけでなくテレビで応援したくなった。」 「前を向いて自分の目標に向かって進み続ける姿がとてもカッコいいと思った。」 「パラリンピアンの子の小さな努力の積み重ねがとてもよく分かった。また、周りに感謝する気持ちが大切だということも分かった。」
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防として、講演会や体験活動などは中止せざるを得なかった。 ・ 生徒が主体的に活動する専門委員会の取組として扱うことで、生徒自らがオリンピックやパラリンピックについて考えを持つように促した。 ・ 道徳や動画視聴では、生徒同士が意見や感想を共有し、他者の意見に触れることで様々な視点から考えられるようにした。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、様々な制限がある中、講演会や体験活動を開催することに困難を感じる。 ・ 本活動を通して得るものは大きいですが、開催が危ぶまれる中、優先されるべきは命であり、スポーツではないとの意見があった。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ・ パラリンピック競技の体験授業を後期に行いたいと考えている。 ・ 生徒のオリンピック・パラリンピックへの興味関心を大切にし、委員会の取組は継続していきたい。